



県議会 2019-22 J-PRESS

新政あいち県議団

鈴木 純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

県議会2019-22プレスは新政あいち県議団に交付されている政務活動費の一部充当して作成・配布しています。県政のご意見ご要望をお寄せください。

愛知県議会イスラエル訪問団 2022.10.31 ~ 11.5



●訪問団では副団長を務め、Start-Up Nation Central や中小のイスラエルスタートアップ及び杉原千蔵氏ゆかりのヤド・ヴァシムを訪問



●ジブリの大倉庫にて紅の豚ポルコ・ロッソ氏と



●県政 150 周年記念式典



●新型コロナワクチン娘の家族枠で職域接種

の実現に向け、新政あいちの仲間や皆様と連携して前進してまいります。新年度は稲沢緑風館高校、ジブリパーク、あいち県民の日・あいちウィーク、2024年はSTATION Ai、2025年は愛・地球博20周年、愛知県体育館、基幹的広域防災拠点、2026年はアジア・アジアパラ競技大会などキーワードが並びます。リニア大交流圏を見据え持続可能な安心・安全な愛知、稲沢を実現することを地元選出県会議員の使命として一生懸命働きます。

今回のJ-PRESSは抜粋ですがIV期4年の活動をまとめました。ご高覧いただければ幸いです。今後も市議の時代から続けている毎月の街宣活動で情報発信し、皆様と共に明るく元気に希望を持って暮らせる未来へつづくまちづくりに取り組んでまいりますのでより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

愛知県政の4年間を振り返って④

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すすき 純



愛知県議会議員IV期目となります2019年度から2022年度では、令和の新たな幕開けに天皇皇后両陛下をお迎えしての全国植樹祭や愛知県国際展示場の開館など未来へ向けてスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症により社会経済は大きな変容を余儀なくされました。愛知県も国に先駆けて大規模集団接種を実施するなど総力を挙げて、医師や看護師、エッセンシャルワーカーなど関係の皆様にご協力ご尽力頂き、飲食や観光産業ははじめダメージを受ける皆様にご努力頂きました。県議会も度重なる臨時議会の開催など対応しましたが全てのご要望にはお応えできず、また一部の悪質な事業者や予算の執行残など課題が残りました。

このような中、あいち朝日ミュージアムや東海北陸自動車道一宮稲沢北IC開通、名古屋競馬場移転、東京2020オリパラのようにイベントを延期しての開催、ジブリパーク、愛知県政150周年などコロナに配慮しながら確実に進められ、稲沢市でも祖父江ぎんなんパークなどがオープンしました。

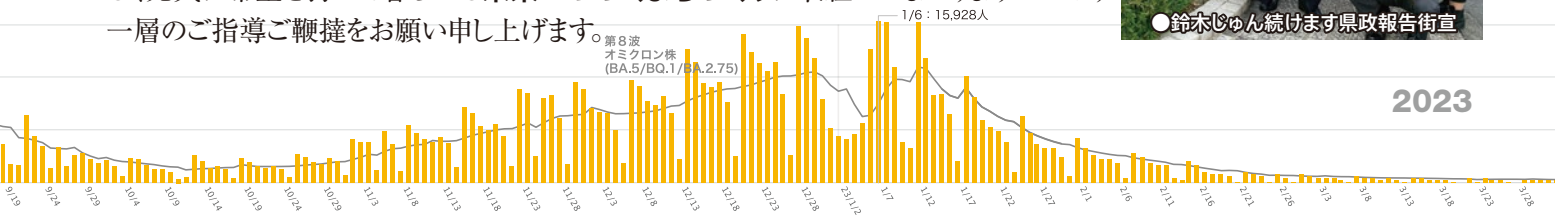
県議会へ送って頂き四期16年目の春を迎えます。今期は体調を崩しましたが、目標としていた議員連盟は仲間の協力のもと設立(鈴木は中小企業議連会長に)、2010年に一般質問した県民の日条例や2018年に一般質問した犯罪被害者等支援条例なども成立しました。ただし、地震対策推進条例や議員定数の見直し、合併時の重要項目、祖父江稲沢線などは道半ばなのに加え、SDGs、CN、DXなど新たな取組も必要となりました。

来期はWith/Afterコロナの取組として経済と地域の絆の再生、静かな有事である人口減少に対し子ども達もスクスク育つ健康長寿社会の



●鈴木じゅん続けます県政報告街宣

2023



2019.4～ 〔平成31年 令和元年度〕

■県議会等[神野議長 堀寄副議長]
農林水産委員会
産業イノベーション推進特別委員会(委員長)
政治倫理審査会

■新政あいち県議団等
[安藤団長 西久保幹事長]
農林水産部会長
議会改革PT事務局長～
新政あいち総務会長代行～

■県政等の主な動き[一般会計当初予算2兆5,124億円]
新元号「令和」大嘗祭
交通死亡事故の根絶について議決
第70回全国植樹祭
ラグビーワールドカップ2019
あいちトリエンナーレ2019
あいち技能五輪・アビリンピック2019
SDGs未来都市に選定
議員提案県種子条例制定



第70回全国植樹祭開催!



ご即位された天皇皇后両陛下をお迎えしての全国植樹祭は、天皇陛下から『歴史の重み、先人の努力、健全な森を次世代へ造るのは私たちの使命、ここ愛知の地から全国へ、未来へ向けて』というお言葉を頂き会場の皆さまと共に感動しました。また、稲沢高校ののぼりと稲沢高校等のスクールステイの苗木の贈呈、天皇皇后両陛下によるお手植えとお手播きが行われました。



令和元年度2月定例県議会で議案質疑



本会議の議案質疑では、歳出第7款建設費第3項河川海岸費及び第7項都市整備費の中から水防法の改正などを受け水害リスク情報について県の取組を質しました。概ね1000年に一度の想定し得る最大規模の降雨に対応した浸水想定区域等の見直しは来年度末までに対象の244河川全て公表の予定(日光川等公表済み)。新たな洪水ハザードマップの作成は34市町村が対象となり来年度末には22市町村が策定予定。不動産取引時に住宅等の購入者への水害リスクの説明が義務化された場合はチラシを作成し周知徹底を図るなど答弁頂きました。

産業イノベーション推進特別委員会県外調査



委員長を務める産業イノベーション推進特別委員会の県外調査を実施し、北海道立総合研究機構では食品加工メーカー等に対する各種ロボットを用いた実践的な技術習得の支援等を実施する食品ロボット実証ラボを、北海道大学では担い手や後継者不足など日本農業が抱える多くの課題を解決し農業を成長産業化させるためICTやロボット等の先端技術を活用したスマート農業の取組について調査しました。

- モニターによる4台の無人トラクタ遠隔監視システム
- 4台が協調作業するマルチロボットトラクタ



あいち技能五輪・アビリンピック2019



第57回技能五輪全国大会並びに第39回全国障害者技能大会(全国アビリンピック)がアイチ・スカイ・エキスポをメイン会場として開催され、愛知県は技能五輪で15年連続の最優秀技能選手団に、アビリンは昨年に続きメダル獲得数全国1位に輝きました。理容の競技会場では審査員を務める稲沢市の石黒氏から照明等の要望も頂きました。大会は技能を競うことにより職業能力の向上、障害者に対する理解と認識、技能尊重気運の醸成等を目的としています。参加資格は技能五輪が原則23歳以下、アビリンが15歳以上であることなどです。来年は全国初の2年連続開催です。



愛知県国際展示場OPEN!



海外からも利便性の高い常滑市セントレアの中部国際空港島内に愛知県国際展示場アイチ・スカイ・エキスポが誕生しました。コンサートなどに対応する無柱空間の展示ホールA(100m×100m)をはじめ一体利用が可能な展示ホールB～F区画(各1万㎡)と合計展示面積6万㎡に、会議室や多目的屋外利用地(臨時駐車場)など国内4番目の規模を誇ります。ものづくり愛知の魅力を世界へ発信し、世界からお客様をお迎えする拠点です。

初めての長期入院!



7月、8月と抗がん剤治療のため初めての長期入院をしました。以前から違和感はありましたがイケメン先生の耳鼻咽喉科での診察で即、総合病院を予約、病院では即、検査日程を組まれ咽頭がんの診断を受け6月議会閉会日を待たずに即、入院です。がんの消滅と共に髪の毛もなくなり一休さんに(人生初の坊主頭!)、続く通院による放射線治療は10月下旬まで、入院時と同様に食事がのどを通りませんでした。現在はファミリーストップ(ドクターではなく!)だったお酒も解禁です。参院選や市議選も含めこの間、多くの皆様にお支え頂き感謝です。特に妻には生涯頭が上がりません(前から?)。働きながら治療を続けるには周囲の理解が必要など、この経験も議会活動の中で活かしてまいります。

稲沢市議会遠藤明副議長逝く

昨年(2019年)の市議選で鈴木と同じ4期目の当選を果たし副議長の要職にいた遠藤市議が急逝され、初当選からタッグを組んだ盟友の早すぎる死を悼みご冥福をお祈りしました。我が家のゴールデンレトリバーのすてっぷ君と大の仲良しで、彼の東京での結婚式も家族全員で出席させて頂き、鈴木ががんになったときは僕が病気の先輩だからと励ましてくれました。

通夜、告別式にはお支え頂いた地元の皆様や公職者をはじめ大変多くの方々にご弔問頂き、えんどっちの手柄が僥われました。 合掌



トピックス

●祖父江のホタルを守る会県表彰

令和元年度の県の環境保全関係功労者表彰式が行われNPO法人祖父江のホタルを守る会(山内会長)様が『長年にわたり環境保全活動の推進に尽力し顕著な功績をあげた団体』として環境保全活動功労を受賞されました。(2020年には環境大臣表彰を受賞)



●ウルフドッグス名古屋後援会設立!

バレーボールVリーグのウルフドッグス名古屋(マスコットはウルドくん)の西尾張地区後援会が設立され、会長に松岡平和町商工会会長が、副会長には豊田合成からお迎えしている稲沢商工会議所財津副会頭はじめ関係商工会会長が就任されました。



●連合愛知尾張南ボウリング大会

尾張南地域協議会稲沢地区連絡会のファミリー大ボウリング大会が開催され、鈴木もご挨拶させて頂き鈴木代表(豊田合成労組委員長)とW鈴木による始球式に!鈴木はコケましたが、鈴木代表が見事ストライクで稲沢GBから全員にドリンクを頂きました。



2020.4～ [令和2年度]

■県議会等[神戸(洋)議長 青山副議長]
県民環境委員会
産業イノベーション推進特別委員会

■新政あいち県議団等
[谷口団長 長江幹事長]

■県政の主な動き[一般会計当初予算2兆5,722億円]
新型コロナウイルス感染症対策推進条例
委員会オンライン出席への条例一部改正
あいち技能五輪・アビリンピック2020
東海北陸自動車道一宮稲沢北IC開通

あいち朝日遺跡ミュージアム開館
愛知県DX推進本部設置
稲沢市長・市議補選
第76回国体冬季大会



県民環境委員会質問



新政あいち県議団の県民環境委員会メンバー。左からおおたけ副委員長、かじ山委員、SUZUKI、渡辺委員

委員会質問ではあいちトリエンナーレについて、第1回トリエンナーレ開催の前年に海外調査を行ったヴェネツィアビエンナーレの歴史的意義と文化芸術振興条例等への明確な位置付けについて要望しました。

また、コロナ関連では4月16日の休業要請と同時に開設した県民相談総合窓口（コールセンター）についてその取組を質しました。センターにはこれまでに約3万3千件の問い合わせがあり電話によるものが8割、メールは2割、開設直後には問い合わせが殺到し繋がりにくい状況が発生し回線の増設等で対応しています。メールは個別回答が困難に

なりQ&Aに変更、苦情の割合が電話より高かったとのことです。週毎では4月20日～26日の週が6,500件とピークですが現在は800件程度となっています。初期対応とメールへの対応が今後の課題です。センターは県・市協力金の申請受付の終了の6月末で終了となります。

新政あいち県議団議会改革PT

鈴木が事務局長を務める議会改革PTではコロナの拡大により社会状況等の変容に対応するため今までのクラウド化などからICTを活用した議会改革など重点項目の再検討（強化）を図り、情報共有とペーパーレス化、Web会議の導入、常任委員会のネット中継の導入、本会議中継のスマートフォン対応、高校生議会などの方針を定めました。県議会でも委員会条例を改正し非常時の委員会へのオンライン参加を可能としましたので、新政あいち県議団の総務委員会でもオンライン会議を実施しました。



あいち朝日遺跡ミュージアム開館



名古屋高速と第二環状の交差する清州JCTのすぐ近く、史跡貝殻山貝塚の敷地を拡幅しあいち朝日遺跡ミュージアムがオープンしました。朝日遺跡は弥生時代前期から古墳時代前期まで営まれた全国でも有数の大規模集落です。丸窓付土器や赤彩（せきさい）土器など2,028点が重要文化財です。施設ではクロスロードビジョンや弥生道具体験、弥生衣装体験、屋外広場では環濠（かんごう：堀）と貝層や堅穴住居の展示などご家族で楽しんで頂けます。



豊田合成記念体育館 エントリオOPEN！



豊田合成創立70周年記念事業の一環としてJR稲沢駅東に豊田合成記念体育館 **ENTRIO** がオープン。ウルフドッグス名古屋などの活動拠点となるアリーナは最大3,500人を収容、レストランドレッセ、コンビニも併設され稲沢の新たなランドマークの誕生です。



東海北陸自動車道一宮稲沢北IC開通



※ICから名神高速道路へ乗り降りにはできません

東海北陸自動車道へのアクセス強化・県道岐阜稲沢線の渋滞緩和を目的に稲沢市から北へ約2.2kmのICの名称が一宮稲沢北インターチェンジに決定。15箇所の信号交差点を通過することなく東海北陸自動車道へアクセス可能となります。今年度開業です。



連合愛知尾張南地域協議会県政報告



連合愛知尾張南地域協議会の三役幹事会では政策推進議員（稲沢からは星野市議、木全市議、岡野市議）が一般質問など議会活動について順番に報告の機会を頂いています。県政報告の最初はコロナ関係で季節性インフルエンザの流行期に備え発熱患者等が地域の医療機関に直接電話相談の上、診療・検査を受けられるよう県が指定した診療・検査医療機関稲沢（指定は6千弱機関の内約2割、稲沢では市民病院等20施設）についてや、街宣資料に基づいて9月議会や議会改革PT、来年度に向けた知事への提言等報告しました。また、後日皆さんとJR稲沢駅周辺のゴミ拾いも実施しました。

トピックス

●農産物利活用支援事業

疲弊する花き農家への補助制度を活用して稲沢ばらさんから愛知啓成高校へバラを贈呈、2009年の著書で今後10年のパンデミックを危惧していた仏のジャック・アタリ氏は、コロナ禍の中で「他者のために生きる」「連帯」を説かれました。Think and Live Positive! ポジティブに考えて生きよう！



●新政あいち役員会議

写真は久々に開かれた新政あいち役員会で中村晋幹事長の発案でコロナ禍の中会員の皆さんへのメッセージを送ろうと企画したものです。鈴木は今年度も総務会長代行を務めます（後に総務会長に）。また選挙が噂されていますが国民民主党愛知県連では新政あいち県議会を代表して副代表を務めます。

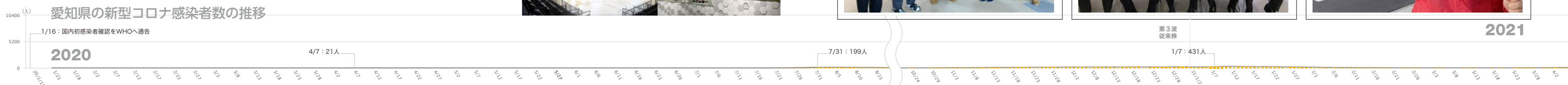


●稲沢市長選

稲沢市長選挙は現職の加藤候補が再選を果たしました。鈴木はコロナ禍の厳しい状況の中でありますので現職が引き続き対応するのがベストと考え市議会市民クラブ（木全会長）の皆さんと現職を支持、投票率は激戦だった前回の44.90%から32.99%と11.91ポイント下回り合併後最低でした。



2021



2021.4～ [令和3年度]

■県議会等[坂田議長 近藤副議長]
農林水産委員会
アジア競技大会調査特別委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
政治倫理審査会

■新政あいち県議団等
[富田団長 森井幹事長]
農林水産部会長
中小企業振興政策推進議員連盟会長～
新政あいち総務会長～

■県政の主な動き[一般会計当初予算2兆7,163億円]
東京2020オリンピック・パラリンピック
ワールドロボットサミット2020
衆議院選新岸田自民絶対安定多数
議員提案県木材利用推進条例
愛知県ヤングケアラー実態調査
ウクライナへのロシア侵攻
犯罪被害者等支援条例
人権尊重の社会づくり条例



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会



特別委員会は自民10新政6公明1無所属1の18名で構成、通常の常任・特別委員会より大所帯となっています

新設された特別委員会が早速6月議会中の7月5日に第1回目が開かれワクチンの接種状況など理事者説明の後、鈴木からは職域接種の取組について県の取組を質しました。

県の電話相談窓口などに寄せられた件数は967件、国への申請件数は414件、152万人対象とのことですが、国が承認しているのは192件、82万人対象でした。ワクチン不足や自治体の負担軽減、確実な接種のためにも接種券の速やかな配布・登録など国、県、市町村、企業等との情報の把握・共有が重要です。

農林水産委員会+部会



農林水産委員会は12人、新政あいちのメンバーは左から1人置いて朝倉、小山、SUZUKI、渡辺委員長です

委員会では公共施設における花きの活用及び新たな花きの活用スタイルの創造やアワビ、ミルクイ、アサリ、アユの種苗放流の取組の1/2補助などについて部会長を務める農林水産部会で事前審議してのぞみ可決しました。また、農業分野の新たな課題に対応するためのあいち農業イノベーションプロジェクトに向け9月補正予算に基づき共同研究テーマやスタートアップ企業のシーズなどの調査を実施します。

部会では知事要望に向け食と緑の基本計画2025の概要を聴取後、本格的な利用期を迎えている本県人工林の利用拡大やAICHI BLANDの確立など議論しています。

農林水産委員会県内調査

農林水産委員会の県内調査で県産木材の利用促進としてクラウドで木造化を実現し、あいち木づかい優秀賞を受賞した名古屋市緑区のおおぞら学童保育クラブ及び県農業総合試験場を訪れました。試験場は4月に研究戦略部・普及戦略部を設置し試験研究基本計画2025で定めた4つの重点研究目標に基づいて研究を実施しています。スマート育種を活用した品種開発(exミネアサヒSBL)の推進について意見交換後、植物育成温室、イチジクの選抜ほ場を見学しました。



アジア競技大会調査特別委員会



2026年9月19日(土)～10月4日(日)の16日間開催される4年に一度のアジア最大のスポーツの祭典「第20回アジア競技大会」の議論を深める特別委員会で名城大学の松本幸正教授に、メインの選手村(現在断念へ)が造られる名古屋競馬場跡地の開催後の港北エリアのまちづくりについて講演を頂き、歩行者空間や街路樹の活用(植木のまち稲沢-松本教授は国府宮の再開発にも尽力)など意見交換させて頂きました。

愛知県の新型コロナ感染者数の推移

2021

5/12: 679人

8/27: 2,346人

中小企業振興政策推進議員連盟

新政あいち県議団の中小企業振興政策推進議員連盟の設立報告及び意見交換のため議連会長として知事公館に大村知事を訪ねました。



理事者側は大村知事 矢野経済産業局長 松川中小企業部長

新政あいち県議団18人で議連を設立
「コロナ禍の中小支援」
新政あいち県議団が、会派の議員が参加する中小企業振興政策推進議員連盟を設立した。今後、中小企業を支援するため実態を調査し、政策提言していく。鈴木純会長らが四日、県公館を訪れ、大村秀章知事と意見交換した。
これまで地元企業から各議員に要望や意見が個別に出されていたが、任期中に継続して活動するためには組織として意見集約し、各種団体と関係を構築する必要があるとして、議連を設立することになった。メンバーは十八人。
鈴木会長は「さまざまな課題に対して中小企業振興の一助になるよう積極的に取り組む」と述べ、大村知事は「いろんな情報を集めて政策に練り上げ、私どもにご指導いただきたい」と話した。議連は当面、新型コロナウイルスの影響を受ける中小企業の支援に取り組む。

◆中日新聞県内版(8/5)に掲載されました。
同県議団は六月以降、ほかに観光・地域振興、多文化共生、健康と食、介護、私学振興・子育て支援、子ども・若者の六つの議連を設立した。

祖父江ぎんなんパーク

祖父江町商工会が設立60周年を迎える中、愛知・稲沢の観光資源を代表する祖父江の銀杏のPRと憩いの場である山崎駅東側の祖父江ぎんなんパークには銀杏の代表品種、久寿 藤九郎 栄神 金兵衛の4品種58本や2つの広場、展望丘などが整備され皆様のおいでをお待ちしています。

生誕120年記念荻須高德展

荻須画伯生誕120年を記念して-私のパリ、パリの私-と題した特別展が12月19日まで開催です。市内の2大学やレストラン等のご協力も頂き内容盛りだくさん!写真は「ア・ラ・グリーユ」の前で長女の恵美子様と。秋の京都展に続き年明けにはひろしま美術館で巡回展が開催されます。

トピックス

●TOKYO2020聖火リレー

1年越しの聖火リレーが開催され、津軽三味線デュオ輝&輝(kiki)によるオープニング、トーチへの点燈、オリンピック市の採火式に参加する予定だった石川さんが第一走者として仲間の皆さんらとスタート。駐日ギリシャ大使らに引き継がれ最終は前商工会議所会頭の久納さんが務めました。



●稲沢三宅地区企業団地2期

県企業庁が稲沢市から造成工事の委託を受けた平和の企業団地(7ha6区画全て完売)で一部操業開始。経済・産業活動の回復へ、平和町商工会(松岡氏から水谷新会長に)は積極的な取組を頂き県内57商工会の中で会員事業者の増加率がトップの成績でした。



●祖父江町奉賛会大鏡餅奉納

尾張大國霊神社国府宮はだか祭大鏡餅奉納が地元稲沢市の祖父江町奉賛会(古川貴祥会長)の皆さんがコロナ対策を実施したなか盛大に行われました。



2022

2/2: 7,937人

2022.4～ [令和4年度]

■県議会等 [須崎議長 佐藤(一)副議長]
警察委員会
愛知県競馬組合議会議長

■新政あいち県議団等
[長江団長 天野幹事長]
宮田用土地改良区副理事長
■県政等の主な動き
[一般会計当初予算 2兆8,275億円]
名古屋競馬場移転 OPEN
食育推進全国大会 in あいち
参議院選・安倍元総理凶弾に倒れる
県消防操法大会第1分団出場

明治用水頭首工漏水事故
愛知県尾張地区消防大会
国際芸術祭あいち 2022
ジブリパーク OPEN
県政150周年・あいち県民の日条例
稲沢商工会議所創立50周年



久し振りに 一般質問に登壇

質問の最初の項目としたあいち県民の日は平成22年に一般質問したもので新年度初めて実施する県立高校の休業や県の所管する施設の無料化など前向きな答弁を得ました。経済産業政策ではイスラエル訪問にも触れスタートアップや革新事業創造戦略、開発断念となったMSJも含め次世代産業として期待が寄せられている航空機産業について質しました。



防災関係では本年関東大震災100年でありあいち100万人シェイクアウト達成に向け県の取組等を質しました。

愛知県競馬組合議会議長に就任

愛知県競馬組合議会が移転後の新しい議場で初めて開会し鈴木は議長に選出頂きました。令和4年度の予算総額は580億2千万円、29年振りに収益金配分(県約2億円)予定です。



トピックス

●千代田奉賛会大鏡餅奉納

尾張大國霊神社国府宮はだか祭大鏡餅奉納が千代田奉賛会(家田鐵彦会長)の皆さんのご奉仕で盛大に行われ、はだか祭では手桶隊の皆さんがギリシャ共和国へ敬意を表しました。



●新政あいち大村知事推薦

新政あいち役員会にて来春2月5日執行予定の愛知県知事選挙に現職で4期目を目指す大村秀章知事の推薦を決定し10月6日に推薦決定した連合愛知と共同で大村知事をお招きして推薦状授与、記者会見をしました。(2月5日の投票では大差で4選を果たされました。)

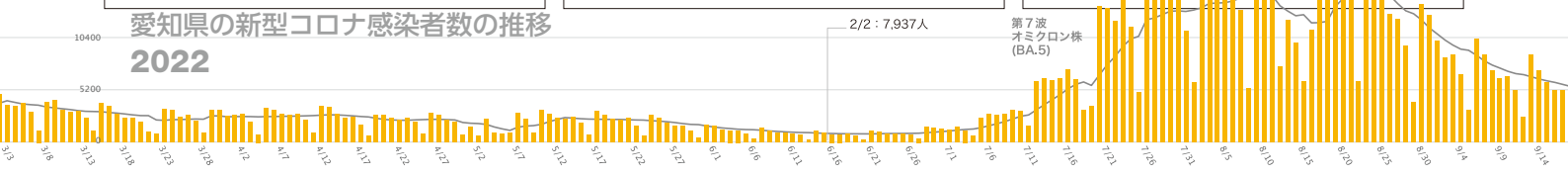


●尾張南地協結成30周年

連合愛知尾張南地域協議会結成30周年感謝のつどいがコロナ禍のため1年越しで実施され、鈴木は星野、木全、岡野の各稲沢市議ほか政策推進議員を代表し国政が混乱する中の地方議員への支援等に感謝し、未来へ向け祝辞を述べさせて頂きました。



愛知県の新型コロナ感染者数の推移 2022



◆中日新聞県内版(3/8)に掲載されました。

「SJ撤退で影響」15社

県内261社にアンケート

県議会二月定例会は七日、本会議を再開し、田中泰彦、杉浦哲也、高桑敏直(自民)、鈴木純(新政あいち)、犬飼明佳(公明)の五議員が一般質問した。

(中根政人、安福晋一郎)

「このうち、三菱重工が国産初のジェット旅客機「スペースジェット」(S J、旧MRJ)事業から撤退を決めたことについて、県が県内企業を対象に緊急アンケートを実施したと説明。「影響があった」と答えた社が十五社以上

たことを明らかにした。鈴木議員の質問に答えた。アンケートは二月十三日、二十日にかけて、航空宇宙産業に連関する県内企業二百六十一社を対象に実施。百一社から回答があった。このうち、五十三社がSJの開発に参加したり、量産に参加予定だったことが分かった。